

平成 30 年度 事業計画

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



本校は、節目の50周年に向けて職業を意識した専門学校として、企業・業界・社会のニーズに対応した質の高い教育を目指します。そして、文部科学省が推進する高度職業実践の高等教育機関創設と

いう将来展望に対し、柔軟に対処できるよう、将来性を意識した学校運営に取り組んで参ります。

重点施策としては、

1. 業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のために、職業人育成に主眼を置き、教育内容の改善を行います。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として、業界団体等が行う技術研修へ教員派遣を積極的に進め、教員の資質向上に努めます。
3. より実効性のある教育体制を構築するために、教育組織の改善に取り組みます。
4. 急速に変遷し、グローバル化する社会のニーズを真摯に受け入れ、本校の特徴を生かして柔軟に対応して行きます。
5. 本校のブランディング効果を上げるため、全教職員が協力して学校教育に当たります。

岡山理科大学専門学校 校長 奥田 宏健

教育の充実

■動物系学科の改組・再編について

- (1) ドッグトレーニング学科のカリキュラムを改編して、広く動物系企業に就職可能な学科にします。トリミング学科を職業実践専門課程学科として申請します。
- (2) 職業実践専門課程認定学科の更なる教育の質の向上に努め、認定効果を広くPRして、学校の存在価値と評価を高めます。

■教育課程の再編

- (1) 全学科の教育課程の変更に伴うシラバス改定を行います。
- (2) 動物看護学科3年制(高度看護医療・臨床検査コース)を充実させ、新たな資格取得を行い、職域を拡大します。

研究の充実

■産官学連携の教育

- (1) 関連団体等主催の各種研修会への教職員派遣を推進し、最新の技術や知識を修得させ、教員個々の研究力向上を図ります。
- (2) 校内倫理委員会を設け、獣医療研究を推進します。

学生支援

■生活支援

- (1) カウンセラーの在校頻度を高め、学生の心のケアサポートに努めます。
- (2) 学校便り（R i S E N通信）を年2回発刊し、保護者へ郵送することで、保護者の学校理解を促進します。

■修学支援

- (1) 資格試験に向けた補講・補習に努めます。
- (2) チューター制を活かした学習相談の充実を図ります。

■就職支援

- (1) 一部の学科カリキュラムの中に、キャリアデザインを開講し、職業人意識の高揚を図ります。
- (2) インターンシップを促進し、就職のミスマッチをなくすと共に就職の機会を拡大します。
- (3) 卒業生の就職先を訪問し、事業者と卒業生の声に耳を傾け、早期離職者の低減に努めます。

・ 就職活動ガイダンス

1 年生	4 月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6 月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(トリミング、ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アクリウム)
	1 月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アクリウム)
	2 月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2 年生	4 月	履歴書の書き方講座(2)(建築)面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)

2 年生	5 月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)
	6 月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アクリウム)
	7 月	合同就職面接会参加マナー講座(3)

■留学生支援

日本語教科書の読解のサポートをし、日常生活支援に努めます。

社会連携・社会貢献

■地域動物医療への貢献

校内の臨床検査室を充実させ、地域の動物病院からの各種臨床検査要望に応えます。

■地域との交流

地元地域の行事に積極的に参画し、学生によるボランティア活動を推進します。

教育研究環境

■施設の充実

- (1) 学生利用施設の点検・補修に努め、快適な生活環境の充実を図ります。
- (2) 学校入り口の環境美化を実践します。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- (1) 資料請求実績の高い地域・高校での進学説明会へ参加し、直接的なPRを行います。
- (2) SNSなどを利用したスマートフォン向けの情報発信を行います。
- (3) 高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報を発信します。

- (4) 社会人学生の受入を推進するため、様々な媒体を活用します。
- (5) オープンキャンパスにおいて、在校生を活用した学校PRを強化します。

内部質保証

■FD・SD

- (1) 校内教職員研修規定に則り、教職員研修を推進し、教職員の資質向上と人脈の拡張に努めます。
- (2) コンプライアンスの徹底を図ります。
- (3) 本校の価値を高めるため、教職員全員の学校ブランド化意識の向上を図ります。

その他の取組

■効率よい授業展開

授業担当者の見直しを進め、校内の人的資源を有効に配置することで、教育内容の向上に努めます。

■コスト削減

教職員の業務遂行に職務意識の高揚を求め、経費の抑制を促します。

主な行事予定

4月8日	入学式
4月10日、 11日	オリエンテーション（夜間部） オリエンテーション（昼間部）
4月13日	授業開始（夜間部） 授業開始（昼間部）
6月15日	球技大会
7月18日 ～8月19日	夏季休暇
9月4日 ～8日	前期末試験 （夜間部は9/9まで）
10月2日	後期授業開始
10月21日 22日	R i s e n祭
12月23日 ～1月6日	冬季休暇
1月29日 ～2月2日	後期末試験 （夜間部1/29～2/3）
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成30年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	52	80	89
	建築学科(夜間部)	20	13	40	26
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	65	120	115
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	9	90	24
	" 2年制	20	24	40	47
	トリミング学科	40	28	80	47
	ドッグトレーニング学科	40	18	80	45
	アクアリウム学科	40	29	80	59
	計	170	108	370	222
合計		230	173	490	337
専攻科	建築学科専攻科	10	18	10	18
研究科	動物系総合学科研究科	10	14	10	14

(単位：人)

■教職員数

(平成30年5月1日現在)

校長	教員	教員 計	事務職員
1	10	11	9

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	
		30年度 予算額	前年度 決算額
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	300,647	298,640
	経常費等補助金	250	60
	その他収入	11,250	11,804
	計	312,147	310,505
	教育活動収支差額	32,743	22,894
教育活動 支出	人件費	177,027	189,022
	教育研究経費	73,362	70,921
	管理経費	29,015	27,668
	その他支出	0	0
	計	279,404	287,611
教育活動収支差額	32,743	22,894	
教 活 外	収入 受取利息等	10	1
	支出 借入金利息等	447	463
	教育活動外収支差額	△437	△462
経常収支差額		32,306	22,432
特 別	収入 資産売却差額等	0	203
	支出 資産処分差額等	0	17
	特別収支差額	0	186
基本金組入前収支差額		32,306	22,618
基本金組入額合計		△17,489	△17,262
当年度収支差額		14,817	5,356

■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
第三校舎2階 ピロティール仕切り工事	1,000